



歯科診療室だより

公立みつぎ総合病院

37号

令和6年6月8日

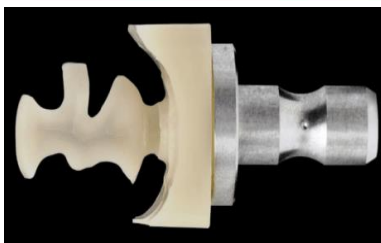
元気歯っつっ!! 健口づくりセミナー

6月6日 久しぶりに住民の皆様の前に出ることが出来ました。コロナ禍で4年間はひっそりと身を潜めていた感じですがこれからは少しずつ住民の皆様の前に顔を出していきたいと思っています。今回は、6月という事で「歯と口の健康習慣」にちなんで「～お口の元気が体の元気に!～」をテーマにコロナ禍で外出の機会が奪われ、増えたといわれるオーラルフレイルと歯科健診の話を中心に話をし、さらに、歯科衛生士の実演と口腔機能低下症の検査の一つとして咀嚼機能検査を体験してもらいました。その結果、参加者全員申し分のない数値で“健口”に過ごされていることが判りました。1時間30分という短い時間でしたが有意義な時間を過ごすことが出来ました。



CAD/CAMインレー

30数年前、1日で虫歯治療が完成するとテレビなどのマスコミで取り上げられていた



治療方法を覚えていますか? 写真を撮るように削った歯を撮影しコンピューターで修復する歯の形を削り出していく画期的な治療方法でした。しかし、その治療方法が始まった時には、まだまだ削った歯と削り出して作った修復物との間にはかなりの隙間ができることを研究で証明しました。それが時を超え、コンピューターの進歩と削り出す機器の改良により当時とは比べ物にはならないほどの精度を持つようになりました。それと同時に今はロシアとウクライナの紛争の影響で歯科用金属の成分であるパラジウムが手になった事により金属に代わる歯科の修復材料が必要となりました。

6月の診療報酬改定以前から保健導入されていましたが条件の緩和により容易にはと同じような色の修復物が装着できるようになりました。左の写真は、治療前、コンピューターで作製した修復物そして治療後です。

もし、ご希望があれば歯科医師に相談して下さい。条件によっては写真の様な治療ができないこともあります。

文責 診療部長 占部秀徳